



東京2020オリンピック聖火リレーを実施しました！



ゴール地点フォトセッション（記念撮影）の様子

東京2020オリンピックの聖火が、7月6日（火）～8日（木）の3日間、埼玉県内40市町村でリレーされました。

宮代町に聖火がリレーされたのは、7月7日（水）です。この日は天候にも恵まれ、青空の下、いきいきと聖火をつなぐランナーの皆さんがとても印象的でした。

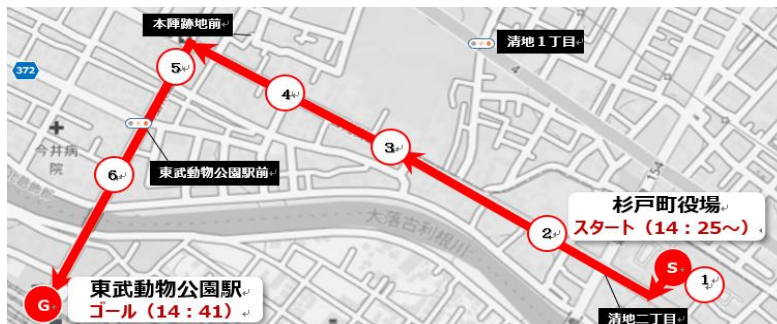
聖火は、杉戸町役場を午後2時25分にスタート。東武動物公園駅東口をゴールに6人の聖火ランナーが聖火をリレーしました。

最終区間となる第6区間（宮代町）を走ったのは、百間中学校3年生の鈴木楓人（すずきふうと）さんです。聖火リレーを走り終えた鈴木さんは「ギリシャから運ばれた炎の重みを感じながら走ることができました」と聖火ランナーの大役を終えた感想を話してくれました。

杉戸・宮代区間を走った6名のランナー

第1区間（杉戸町）
大橋裕美さん第2区間（杉戸町）
須藤圭悦さん第3区間（杉戸町）
渡嘉敷来夢さん第4区間（杉戸町）
鈴木悠斗さん第5区間（杉戸町）
政野裕樹さん第6区間（宮代町）
鈴木楓人さん

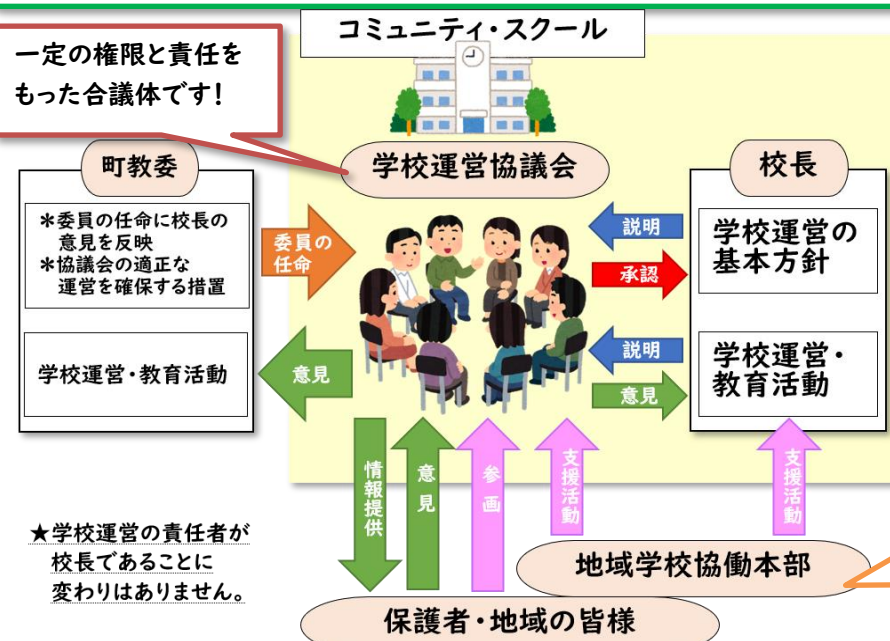
第5区間・第6区間トーチキス photo by Tokyo2020



聖火リレー走行ルート

コミュニティ・スクールはじめました。

コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置している学校のことで、学校・保護者・地域住民が協力して子供たちの成長を支える仕組みです。これまでは学校を「支援」する立場だった地域が、学校と目標やビジョンを共有することで「協働」する立場となり、学校運営や学校の課題に「当事者」として参画できるようになります。地域の力を結集することによって、子供たちの学びや体験活動が充実したり、地域での人間関係やネットワークの構築に繋がったり、学校を含めた地域全体の活性化が期待できます。



本年度は、須賀中学校と東小学校で
先行導入し、今後数年間で町内全ての
小中学校で導入する予定です。

学校応援団やPTA活動など、団体同士の横のつながりをつくり、それぞれの活動を推進する役割があります。

問合せ:学校教育担当 内線423

GIGAスクール構想を進めています。

宮代町内の小・中学校では、「GIGAスクール構想」実現に向けて、準備を進めてまいりました。昨年度末に全ての児童生徒数分約2200台の端末の整備が終了し、現在、町内全ての学校で活用を始めています。

例えば、次のような活用をしています。

- 作文や発表原稿の作成 ○学習活動中の意思表示
○アンケート ○小テスト ○振り返り
○教科書のQRコードの活用 ○カメラ・録画機能の活用
○調べ学習のまとめ ○共同編集（新聞等の作成）



カメラ機能の活用

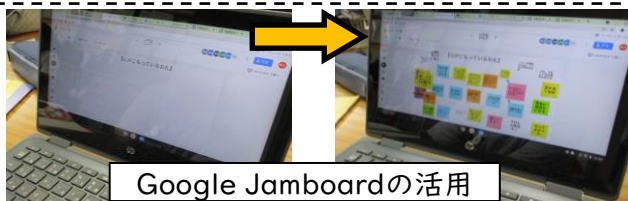


コロナ禍での集会をオンラインで実施
子供たちは各教室から参加しました。

植物の写真を撮って、写真をもとに話し合いを行います。



オンライン集会



Google Jamboardの活用

授業ではJamboard（共同作業に適したデジタルホワイトボード）も活用し、学習を進めています。付箋を使ったワークショップや議論を整理するのに便利です。書き込んだ内容を、リアルタイムで共有することが可能です。

今後も研修を進め、子供たち一人一人に最適化された学習環境を整え、資質と能力を一層確実に育成できる授業を目指します。

問合せ:学校教育担当 内線423

～開催中!!～

10月24日(日)まで

企画展 空から見るみやしろ

人間が空から地上を見下ろす手段が無く、写真もなかった頃。人々は工夫と創造力を凝らし、あたかも鳥の眼で見ているかのような「鳥観図(ちょうかんず)」を作ることによって、空から見た景色として建物や山、川などの地形や配置を立体的にとらえていました。空から写真が撮影できるようになると、より正確な地図の作成のために活用されるようになりました。

今回の企画展は「空から見るみやしろ」と題し、空中写真をテーマにした展示を行っています。この中心となるのは国土地理院がインターネットで公開している「地図・空中写真閲覧サービス」のデータですが、宮代町域が写された一番古いものとしては、昭和21年(1946年)にGHQが撮影したものです。展示した写真を比較しながら見ていくと、私たちの町の変化がとても良くわかります。皆さんのお越しをお待ちしています。



平成28年(2016年)
宮代町撮影

速報

道仏遺跡 発掘調査

今年の4月から8月にかけて調査を行った道仏遺跡ですが調査の結果、古墳時代の住居が20軒近く発見されました。遺物も、土器や石器など非常に多く出土しています。道仏地区は、新しい住宅やショッピングセンターなど賑やかな街並みが形成されていますが、今から1,600年程前の古墳時代も、大きな集落が広がっていました。



土器出土状況



検出された住居跡

中でも、韓式系軟質(かんしきけいなんしつ)土器と呼ばれる土器は、今後、人やモノの流れについて道仏遺跡を研究する上で注目すべき遺物です。



韓式系軟質土器片

問合せ: 34-8882(郷土資料館直通)

あそびと運動「トライ」教室が開催されました

5月29日(土)、6月5日(土)、6月12日(土)の3日間に宮代町総合体育館メインアリーナで、あそびと運動「トライ」春季教室が開催されました。参加対象は、町内の小学1・2年生です。参加者は、3日間で延べ35名でした。

この教室は、手足で違う動きから動きの巧さや俊敏性を促す脳神経のトレーニングやけん玉を使った昔あそび、スカイクロスやフラフープを使ったリレー、大縄跳び、床に貼った梯子をよける運動、大小のボールを使って、投げ方の練習をし、楽しい1日を過ごしました。

教室は、スポーツ推進委員の協力により行われました。また、今回は、新型コロナウイルス感染予防のため、道具の消毒を実施し、子供たちには、競技時以外のマスク着用、手洗いの徹底をお願いしました。子供たちからは、「楽しかった」「また参加したい」との声を頂きました。



梯子を上手くよけられました



走って楽しいな

問合せ: 生涯学習・スポーツ振興担当 内線 432

小学校の適正配置及び通学区域の編成等に関する審議会からの答申について

令和3年5月31日付けて、小中学校の適正配置及び通学区域の編成等に関する審議会から諮問事項に対する答申が教育委員会へ提出されました。

答申の概要

【諮問事項①】 現行の適正配置計画等の検証

- ・現行計画に掲げられた内容は妥当であること
- ・ただし、小学校については、国において35人学級の方針が示されたことや今後の児童数の増加等を踏まえ、今後10年間は4校を維持することが肝要であること
- ・中学校の再編、統合にあたっては、通学に関する安全性を十分に確保すること

【諮問事項②】 学校教育を取り巻く環境の変化を 踏まえた今後のあり方

- ・少人数学級については、国の動向を注視し、学校規模に関わるテーマが具現化した場合に、早急な検討を行うべきであること
- ・義務教育学校については、そのメリットは享受することはできるが、現行の適正配置計画に掲げられた学校規模が失われることに伴う課題を解決することは難しいこと

答申を受け、町ではその内容を審議会委員として御参加いただいた関係団体の皆様（PTA常任委員会、校長会）に説明を行うとともに、自治会長の皆様にも答申の内容をお知らせしました。今後も様々な観点から検討を行い、小中学校の適正配置について検討してまいります。

（答申の内容、審議会の検討経過は、町ホームページ、役場情報公開コーナーで御覧いただけます。）

問合せ 教育総務担当 内線425



～ 令和3年度学校給食調理コンクール ～

【テーマ献立部門】 埼玉県学校食育研究会会長賞を受賞しました

令和3年7月21日(水) に開催された令和3年度学校給食コンクールのテーマ献立部門で宮代町学校給食センターが第2位となる埼玉県学校食育研究会会長賞を受賞しました。

このコンクールは、調理技術の向上や学校給食の充実を図るために開催されているもので、工夫を凝らした給食の献立が評価されました。



※献立のレシピや解説動画は、町のホームページで御覧いただけます。興味のある方は是非お試しください。

【テーマ献立：ロシア料理】
黒パン、牛乳、ジュリエン、
彩りサラダ、ボルシチ

学校トイレのリニューアルを計画的に進めています



現在、教育委員会では、夏休みを利用して主に小学校1年生が利用するトイレのリニューアル工事を実施しています。これまで学校のトイレは、部分的な洋式化等は実施してきましたが、全面的な改修等を行っていないため、設備の老朽化や臭いなどが課題となっていました。今後も計画的に学校トイレのリニューアルを進めてまいります。

問合せ 教育総務担当 内線425

教育だより みやしろ(第9号)
令和3年9月1日発行

発行
事務局 : 宮代町教育委員会
: 教育推進課教育総務担当(宮代町笠原1-4-1)
Tel : 0480 (34) 1111 内線 425・426
Fax : 0480 (34) 4152
Mail : kyouiku@town.miyashiro.saitama.jp
※ ご意見、ご感想をお寄せください。